

ここがヘン？ だよ 日本の学生

アハマド・ナズリ・ビン・ザヒア
(マレーシア)

機械工学科5年
東南アジアで一番高い山「キナバル山」があり、果物の「ドリアン」が有名です。スポーツでは、「セパタクロー」(サッカーのような競技)が東南アジア全体で盛んです。



レレイト・エマニュエル・ランガト
(ケニア)

環境都市工学科5年
ケニアの自慢は、1年中Tシャツで過ごせること(笑)、動物の種類がたくさんあることです。いろんな民族や文化があふれ、50以上の言葉があります。



日本の学生
「そういうあなたも最近、居眠りをしていましたよ」
留学生
「ようやく、日本の学生の気持ちがあわかってきました。ごめんなさい(笑)」
留学生
「まじめに授業を受けている人と、他人のレポートを写したり、適当にさぼって、あとで補習を受けている人との評価があまりかわらないのは、おかしいです」
教官
「私は、罰を与えるというのではなく、自分でやることので

意味をわからせる努力をした
留学生
「ずつと気になっていたので、寮の食堂でなぜ男女別々にすわるのですか？」
日本の学生
「和専は女性が少ないから恥ずかしいんです。(笑)」
留学生
「なぜ恥ずかしいの？日本人は他人とのコミュニケーションが少なすぎると思います」
日本の学生
「そんなことはないです。プライベートを大切にしたいからです」



留学生
「僕は大丈夫。だからもっと僕の部屋に遊びに来てください。(笑)」

まとめ
電気工学科3年 森田真吾

それぞれの国を紹介してもらい、人種や宗教、経済状況などがわかりました。レポートを写す生徒をなぜ叱らないのかという質問には、教官もヒヤリとしていたと思います。

留学生のみなさんが、母国のことや自分の将来や今について真剣に考えていることを知り、僕たちも日本人であることを誇りに思い、自分自身の人生を積極的に生きなければと思いました。

ここに掲載できたのはごく一部です。討論会は約2時間におよび、和気あいあいとした雰囲気で行われていました。ご協力いただいた和専高のみなさん、ありがとうございました。